

# しおんだより VOL.14



## 当院では、消化器外科・整形外科などの手術も行っています

少し意外に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、当院では、主に消化器外科や整形外科の手術も行っています。

様々な疾患に対して治療が行われる際、基本的にはお薬を使った内科的治療が優先されますが、それではカバーできない病気に対して、外科治療、すなわち手術が適応されます。

とはいえ、手術は身体に負担をかけますし、出血や感染などのリスクも伴いますが、ご高齢の方の転倒による骨折など、手術がどうしても必要になってしまう症例は決して少なくありません。

全身麻酔の手術には、外部から麻酔科のドクターにお越しいただき、安全な麻酔管理のもとに、安心して手術を受けて頂ける体制を整えています。

気管切開術や中心静脈ポート留置術といった小さな手術から、整形外科の骨折やがんを含む消化器疾患に対する手術が行われています。最新式の装備ではありませんが、安全・安心の治療をご提供しています。

## 手術時に用いる无影灯が新しくなりました



よくテレビドラマなどでも出てくる无影灯。昔はハロゲンライトでしたが、近年、温度上昇もなく、小型だけれども極めて明るいLEDライトによるものが主流です。

当院でも、手術のニーズが高まっていることを受け、手術野を明るくし、より安全・安心な治療を受けて頂けるように、本年、LEDの无影灯を導入しました

術野を明るく保つことは、術者の疲労感も軽減しますし、出血点や手術部位がより鮮

明に明るく確認できるため、安心・安全な手術の実現に直結します。病院そのものは年季の入った（！？）建物ですが、以前ご紹介したCT撮影装置や超音波検査装置、そして今回の无影灯のように、設備は少しずつ、しかし着実にバージョンアップし、より安全・安心の医療が提供できるように努めています。

## 「財前五郎」の名前の由来は、大阪大学にあった！？

昔も今も、テレビドラマで人気のジャンルが、病院や医師に関するもののように。その極めつけは、やはり山崎豊子さんの「白い巨塔」ではないでしょうか。

40年ぐらい前なら田宮次郎、20年前だと唐沢寿明、最近では岡田准一などが演じた「浪速大学第一外科財前五郎教授」が印象的です。当院特別顧問の松田暉先生は、大阪大学第一外科教授でいらっしゃいましたが、まさに財前五郎を彷彿とさせる教授回診でした。

ちなみに、山崎豊子さんは、まだ大阪・中之島に阪大病院があったころに第二外科にご入院された時にこの小説を着想されたそうです。その時の第二外科教授は、神崎五郎（こうさきごろう）先生とおっしゃる方で「財前五郎」という名称のもとになったとか、ならなかったとか。まだまだ外出が憚られる今年の年末・年始。そんなことを考えながら、名作と名高い「白い巨塔」の小説やテレビドラマなどを見返してみるのも良いのかも知れませんね。



この日の手術室では、整形外科の手術が行われていました。

しおんだより 第14号 発行日：令和3年12月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)